

日本鉄鋼協会記事

理事會

第3回理事会 開催日：9月17日。出席者：石原会長，ほか40名。

1. The Iron and Steel Handbook (鉄鋼便覧英訳版) 出版について

外国出版社と標記出版につき契約を締結することを決定した。

2. 共同研究会運営委員会報告

書面による運営委員会を開催し，垂鉛めつき鋼板部会の新設を決定した。当面は溶融垂鉛めつきを対象としてスタートする。電気垂鉛めつき鋼板は含めないが，今後様子を見て検討する。

3. 特定基礎研究会新部会発足について

画像解析による材料評価，電磁気冶金の基礎研究，相界面・結晶粒界の設計と制御（仮称）の3部会の発足を決定した。

企画委員会

第3回企画委員会 開催日：7月22日。出席者：栗田委員長，ほか20名。

1. 鉄鋼二次製品生産設備能力調査終了報告

調査委員会と幹事会および19の部会を設け25品種について昭和59年10月末現在における調査を行った。生産設備の機種別の仕様および生産能力，基数など実態を報告書「鉄鋼二次製品生産設備の現況」として刊行した旨。

2. ISO/TC17/SC9/WG 2, 4 東京会議報告

7月17, 18日経団連会館においてTC17/SC9/WG2 (鋼-ぶりき-Sn付着量) 及びTC17/SC9/WG4 (鋼-ぶりき-機械特性) の会議が開催され，審議内容についての報告があつた。

3. 昭和60年度製鉄所，研究所見学会の件

本年11月に見学会を実施するが，一般紙にも7月12日に記事が掲載された。各大学の学部，学科にダイレクトメールし，募集を開始した旨報告。

第4回企画委員会 開催日：9月13日。出席者：栗田委員長，ほか20名。

1. 第3回鉄鋼圧延国際会議（鋼管）報告

9月2～5日経団連会館において開催された。オープニングレクチャー3件，一般論文87件，参加者は日本人191名，外国人137名で盛会であつた。尚9月6, 9日に工場見学を実施した。

2. 新素材試験評価委員会報告

新素材の試験評価方法に関し，アンケートを実施した結果，調査，粉末焼結体，繊維強化材料，形状記憶合金の4WGを設置し調査，審議を進めることになった。

3. 会計分科会報告

第2四半期の収支を検討したが上半期を通し収支共順調に推移した旨報告。尚昭和61年度予算方針について

は極力節約し，継続事業については規模を前年度並みとすることになった。

編集委員会

第4回編集運営委員会 開催日：8月29日。出席者：坂尾委員長，ほか17名。

昭和60年度ヘンダーソン賞の選考を行った。候補として推薦された論文10件を対象に検討がなされ，うち1件が選出された。

第6回和文会誌分科会 開催日：9月12日。出席者：坂尾主査，ほか35名。

1. 36件の論文審査報告がなされ，掲載決定24件，照会后掲載可9件，その他3件であつた。

2. 「鉄と鋼」第71年第16号(12月号)に論文11件，技術報告3件，技術資料1件，解説3件掲載決定した。

3. 「鉄と鋼」第72年第1号(1月号)に論文10件，技術報告1件掲載決定した。

第6回欧文会誌分科会 開催日：9月13日。出席者：加藤主査，ほか14名。

1. 24件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可3件，修正依頼17件，返却1件であつた。また，14件のNew Technologyにつき審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可2件，修正依頼9件であつた。

共同研究会

鋼管部会

第37回継目無鋼管分科会 開催日：9月19～20日。開催地：住金・大阪本社。出席者：白浜主査，ほか70名。第1日（マンネスマン関係）

1. 自由議題

- (1) 交叉穿孔機の開発 (住金・海南)
- (2) 中径管工場の直接焼入について (鋼管・京浜)
- (3) 仕掛自動置場設備の構成と機能 (新日鉄・八幡)
- (4) マンドレルミルの圧延特性について (川鉄・知多)
- (5) アッセルミルの操業実績について (山特)

2. 工場操業状況報告

3. 次回議題検討

4. 歩留調査改訂に関するアンケート結果報告
第2日 (熱押・冷牽関係)

1. 共通議題

- (1) 熱間押出工場の段取替及び工具替について (住金・尼崎)
- (2) コールドビルガミルの能率，品質，保守管理について (山特)

2. 工場操業状況報告

3. 次回議題検討

4. 歩留調査改訂に関するアンケート結果報告

第 37 回溶接鋼管分科会 開催日：9月12～13日。出席者：合田照夫主査，ほか 103 名。

第1日（電弧溶接管関係）

- (1) スパイラル鋼管の外観・形状・寸法について（久保田鉄工）
- (2) 主要設備の能力と製造可能範囲について（鋼管・福山）
- (3) 工場操業状況について
- (4) 次回議題について

第2日（電縫・鍛接管関係）

- (1) 高周波電縫溶接および技術について（住金・和歌山）
- (2) 鍛接管圧延設備と操業について（鋼管・福山）
- (3) 工場操業状況について
- (4) 次回議題について

第 11 回調査部会 開催日：8月29日。出席者：内仲部会長，ほか 14 名。

- 1. 昭和 60 年度調査部会活動方針について
韓国，台湾，ブラジル，メキシコ，オーストラリア，スペイン，ルーマニアの7か国における鉄鋼業の技術力の現状分析について報告書を作成することになった。
- 2. テーマ名変更について
- 3. その他

第 5 回低炭素鋼板研究委員会

開催日：8月30日。出席者：阿部委員長，ほか 17 名。

下記の内容について研究発表があつた。

- 1. 潮田浩作・W.B. Hutchinson：低炭素鋼の回復，再結晶と集合組織形成に及ぼす炭素の影響
- 2. 塚谷一郎：極低炭素鋼板の再結晶集合組織に及ぼすマンガンおよび固溶炭素の影響
- 3. 大沢紘一，栗原 極：低炭素鋼板の再結晶集合組織に対する P, Mn, C の複合効果
- 4. 橋本俊一：珪素を含む高張力冷延鋼板の再結晶集合組織
- 5. 討論

鉄鋼技術情報センター

第 28 回図書資料委員会 開催日：9月6日。出席者：岩崎委員長，ほか 13 名。

- 1) 前回議事録の確認
- 2) 鉄共研資料のマイクロ化，及び利用システムについて
- 3) BISIT Translation
- 4) 図書資料担当女性社員研修会
- 5) 境界領域の図書，雑誌

鉄鋼基礎共同研究会

第 12 回鉄鋼の環境強度部会 開催日：8月23日。出席者：駒井部会長，ほか 26 名。

- 1. 11月21日開催予定の第2回シンポジウム“鉄鋼の海洋環境共通試験とその解析”に発表する講演内容要旨報告。発表9件。
- 2. 共通試験結果報告。発表16件。

原稿用紙，合本ファイル有償頒布について

- 1. 原稿用紙（鉄と鋼用本文用紙 50 枚・図面用紙 8 枚綴） 1冊 500 円（〒350 円），2, 3冊（〒700 円）
- 2. 図面用紙（鉄と鋼用 50 枚綴） 1冊 500 円（〒350 円），2, 3冊（〒700 円）
- 3. 講演前刷用原稿用紙 鉄と鋼用（1枚 30 円），Transactions ISIJ 用（1枚 30 円）

郵送頒布の場合は下記のと通りの枚数を限定させていただきます。なお 50 枚以上の場合は係までお問合せ下さい。

	10 枚	20 枚	30 枚	40 枚	50 枚	備 考
鉄 と 鋼 用	540 円	950 円	1250 円	1550 円	2200 円	} 料金は送料込み
Transactions 用	540 円	840 円	1250 円	1550 円	1850 円	

- 4. 「鉄と鋼」用合本ファイル 1冊 会員 330 円 非会員 360 円（送料別）
- 5. 申込方法 ①原稿用紙の種類，②枚数，③送付先明記のうえ，④料金（1000 円以内は切手でも可）を添えお申し込み下さい。
- 6. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会庶務課